

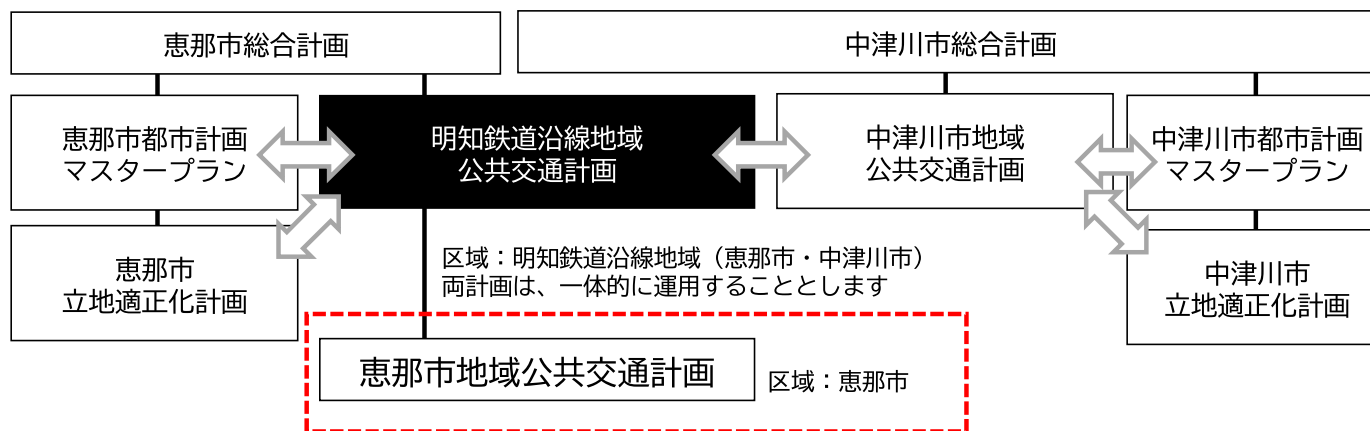
令和8年度で計画最終年を迎える、恵那市地域公共交通計画の次期計画に向けた改正を実施

## 1. 計画策定期間

- 計画期間 : 令和9年4月～15年度(7力年)
- 計画策定期間 : 令和7年度～令和8年度

内容	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	...
恵那市総合計画	既存計画	基本構想 計画期間：令和8年～令和27年度(20年間)								
		基本計画4年間				基本計画4年間				
公共交通計画	既存計画	計画期間：令和9年度～令和15年度(7力年)								
				中間見直し						

## 2. 本計画の位置づけ



## 3. 本計画の区域

計画の区域は「恵那市」



# 恵那市地域公共交通計画策定に向けた流れと本日の議論

令和  
7年度

令和8年2月3日 第2回 会議  
現状確認・課題・方向性の整理

令和8年4月～10月 第1回地域検討会（13地区） ※随時開催2回以上

令和8年5月8日 第1回 会議 現状確認・課題・方向性の整理  
策定方針（案）

本日

令和8年5月 事業者ヒアリング

令和8年6月～8月 アンケート実施・集計

令和8年9月 第2回 会議  
アンケート結果・計画（素案）  
基本方針（骨子）・目指すべき公共交通体系・施策・事業

令和8年11月 第3回 会議  
計画（案）【施策・事業】

令和9年1月 第4回 会議 計画（案）

令和9年1月～2月 パブリックコメントの実施

令和9年3月 第5回 会議 計画（案） ※パブリックコメントの内容に応じて実施

令和9年3月 計画策定

令和  
8年度

# 計画策定スケジュール

▼ 本日

内容	11月	12月	R8.1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R9.1月	2月	3月	4月	
交通計画	■計画期間：平成31年～令和8年度（8カ年）																		■新計画
	■評価指標・事業実施状況（現状診断） ■事例収集 ■現状確認・課題・方向性の整理 ・策定方針（案） ■交通事業者ヒアリング ■アンケート調査 ■集計 ■地域交通が目指す姿の設定 ■データ整理 ■計画素案 ■計画（案） ■計画（最終） ■計画策定																		
交通会議	■2/3 交通会議（現状確認・課題・方向性の整理） ■5/8交通会議① 内容検討（策定方針（案）） ■交通会議②（計画素案） ■交通会議③（計画案） ■交通会議④（計画策定）																		
地域	■地域検討会の開催①（現状把握・意見交換） ■アンケート調査 ■集計 ■地域検討会の開催②（見直しの方針） ■地域検討会の開催③（計画案説明） ■パブリックコメント																		
庁内	■（仮称）移動手段連絡会議① ■（仮称）移動手段連絡会議② ■（仮称）移動手段連絡会議③																		

# 地域検討会の開催状況

地区	会議体	開催日
笠置	笠置地域協議会常任委員会	令和8年4月14日
串原	串原地域自治区運営協議会 支え合うまちづくり部会	4月15日
三郷	三郷地域三役会議	4月17日
大井	大井地域自治区運営協議会役員会	4月21日
東野	東野地域自治区運営協議会役員会	4月22日
上矢作	上矢作地域公共交通会議	4月22日
中野方	中野方移動手段検討会	4月22日
岩村	岩村地域自治区運営協議会役員会（2回目以降：地域検討会）	4月22日
飯地	飯地地域自治区運営委員会	4月23日
長島	長島町移動手段検討委員会	4月28日
武並	武並町移動手段検討委員会	4月28日
明智	明智地域自治区運営協議会（2回目以降：安心部会）	5月19日（予定）
山岡	山岡地域公共交通検討会	5月20日（予定）

# 当地域の公共交通の現状の課題や問題点

## ○市民の皆様からいただいたご意見

項目	内容	①	②	③	④
バス	【時刻】 ・日中や帰宅時にバスの本数が少ない（無い） ・観光地に向かう希望の時間にダイヤが無い ・回送車両の有効活用（笠置）	○	○	○	○
	【路線】 ・まちなか巡回バスの延伸 ・坂の上にある団地にバスを運行して欲しい ・利用の少ない便の時間帯や路線の変更が必要（三郷） ・便は確保されているものの利用が少ない（串原）	○	○	○	○
	【バス停】 バス停の新設及び移設	○	○	○	
	【自動運転バス】 今後の担い手不足を補う運行として田舎こそ必要（中野方）				○
デマンド交通	【予約】 デマンドの予約が面倒、利用方法が分からない		○	○	○
	【時刻】 ・利用した時間に合わない ・ミーティングポイント間が移動できないのが不便	○		○	
	【運行】 地域を超えた運行を希望 山間部の需要確認（上矢作）	○			○
鉄道	【時刻】 本数が少ない、遅い時間帯に便が欲しい 【利用者】 学生の利用が減っている		○		○
タクシー	【配車】 ・深夜帯にタクシーがない（大井） ・依頼しても希望の時間に利用できない ・観光地にタクシーがない（明智、岩村）			○	○
有償運送	【路線】 ・持続可能な運行とするため、移送サービスから有償運送化の調査検討（中野方）				○
利用促進	○バスの乗り方や時刻、ワンコインパスポートなどの制度を知らない人が多いので利用促進が重要（三郷、中野方） ○モデルコースの作成による周知の強化が必要（上矢作）				○

①コンシェルジュに寄せられたご意見、②満足度調査時に寄せられたご意見、③市に寄せられたご意見、④地域検討会出された意見

# 事務局が捉える主な課題や問題点、今後整理が必要な事項

項目	内容
バス	<ul style="list-style-type: none"><li>・部分的な交通空白地のカバーができていない</li><li>・地域住民を意識したバスダイヤであり来訪者（観光客）に対して十分なダイヤや運行本数、運行方法（デマンド）となっている</li><li>・利用実態に応じたバス路線の再編に向けた整理が必要</li></ul>
明知鉄道	<ul style="list-style-type: none"><li>・利用者減少（コロナ前比）</li><li>・駅のバリアフリー化に向けた具体的な検討ができていない</li></ul>
タクシー	<ul style="list-style-type: none"><li>・公共交通計画に東濃東部交通圏タクシー準特定地域計画との明確な位置づけがない</li></ul>
シェアサイクル	<ul style="list-style-type: none"><li>・事業を推進するにあたり、公共交通計画に明確な位置づけができていない</li><li>※まちなか巡回バスの補完として実施しているが、観光利用の推進も実施している</li></ul>
多様な移動手段	<ul style="list-style-type: none"><li>・主要駅におけるシームレスな移動手段の提供や整備ができていない</li></ul>
広域	<ul style="list-style-type: none"><li>・リニア岐阜県駅から恵那市への移動手段について具体的な検討ができていない</li></ul>
情報発信	<ul style="list-style-type: none"><li>・バス鉄道以外の地域の移動手段について、個々で情報発信を行っており、十分な情報統括ができておらず、分かりやすい情報発信ができていない（福祉、ボランティア輸送、病院バス など）</li></ul>
共通	<ul style="list-style-type: none"><li>・担い手不足（確保）</li></ul>
MaaS	<ul style="list-style-type: none"><li>・デジタル定期券やデマンド予約など、一部DX化を図っているが検索予約決済など一括で行えるサービス提供ができていない。</li></ul>

# 前回の会議時のアンケートでいただいたご意見

項目	内容
①近い将来の理想の公共交通はどうあってほしいか	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 高校生や高齢者など、交通弱者の移動手段を確保する</li><li>・ 誰もがいつでもどこでも移動できる利便性の高い交通体系・鉄道</li><li>・ バスを将来にわたり持続可能に維持することが重要</li><li>・ バスは公営性を重視し、過度に収益性を求めない運営</li><li>・ 一部路線での自動運転バス等の新技術導入</li></ul>
②この地域の公共交通の課題や問題点	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 人口減少・高齢化</li><li>・ 人材不足の進行</li><li>・ 公共交通の維持確保と財源不足</li><li>・ 運転士の高齢化</li><li>・ 不足および都市部への流出</li><li>・ 観光客の二次交通（駅から目的地まで）の不足</li><li>・ 観光による収益を地域に還元する仕組み不足</li></ul>
③理想の公共交通に近づくために、どんなことが必要か。	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 地域全体で運転士確保・育成を支援する体制づくり（待遇・労働環境改善含む）</li><li>・ 鉄道・バス・地域交通を一体で考える広域的な連携</li><li>・ 休日や観光イベントに対応したダイヤ・便数の充実</li><li>・ 観光需要を取り込むための体験型企画（イベント列車など）</li><li>・ 長時間拘束の是正など、働き方改革による人材流出防止</li></ul>

# 次期計画に向けた策定方針（案）

## 1. 策定方針の趣旨

本方針は、令和8年度で計画期間が満了する恵那市地域公共交通計画の次期計画策定に向け、検討の進め方および当面整理すべき考え方を共有するためのものである。恵那市では、人口減少や高齢化の進行に加え、公共交通を担う人材の不足、地域によって異なる地形・生活圏などにより、移動環境を取り巻く状況が一層厳しくなっている。

こうした状況を踏まえ、次期計画では、市民の日常生活を支える移動手段を将来にわたりどのように確保していくかについて、地域の実情を踏まえながら、関係者間で共通認識を形成しつつ検討を進めていく。



## 2. 計画策定にあたって重視する視点

○地域住民が一体となった公共交通となることを目指す。

### ○公共交通を「支える」「活用する」地域住民の活動促進

- ・地域住民が公共交通を「自分事」として捉え、日常的に利用・支援する体制や意識の醸成
- ・地域ごとの生活圏や移動実態を踏まえた、交通サービスの整理



### ○持続可能な公共交通ネットワークの形成

- ・バス・タクシー等を含む担い手の不足や高齢化を踏まえ、限られた人材・財源を前提とした、サービス提供体制の維持・安定化と公共交通の役割分担・効率的な運用の検討
- ・自主運行バス、デマンド交通、タクシー、交通空白地有償運送（ライドシェア）などの既存公共交通の位置づけや、未来のモビリティの活用検討、シェアサイクル等公共交通を補完する移動手段の活用可能性の整理

### ○観光客（来訪者）や高齢者が抵抗なく自然に移動できる環境の整備

- ・高齢者や交通に不慣れな人、観光客・来訪者でも、安心して利用できる移動環境の確保
- ・自動運転技術やIT、MaaSの考え方を活用し、分かりやすく使いやすい交通・情報環境の整備

▶ 次回会議 計画：基本方針（骨子）、目指すべき公共交通体系・施策・事業（素案）